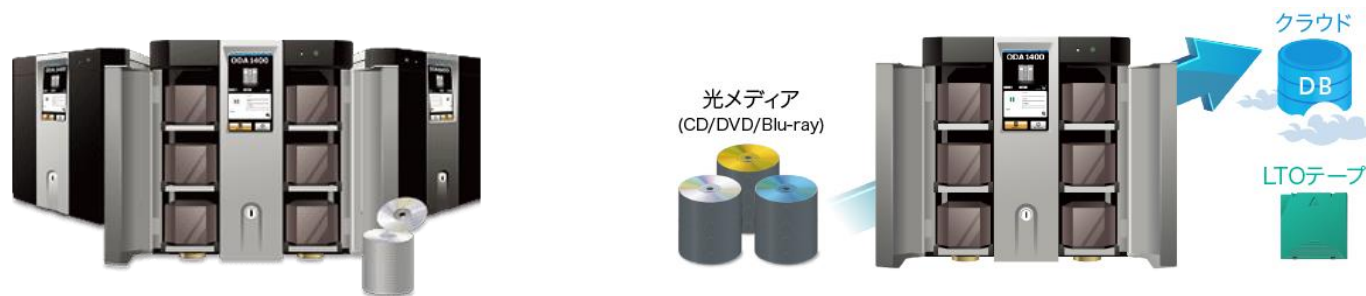




町田市トライアル発注認定制度

MACHIDA CITY TRIAL ORDER
AUTHORIZATION SYSTEM 2023

「マルチ光ディスクシステム ODA1400シリーズ」



株式会社ユニテックス

社名	：株式会社ユニテックス（UNITEX Corporation）	
事業概要	：データストレージ製品の開発・製造・販売・保守・サービス	
代表取締役社長	：小杉 恵美	
所在地	：本社（町田市）・ 相模原事業所2拠点（相模原市）	
資本金	：9000万円	販売は国内のみならず 世界30カ国に展開
設立	：1990年10月	



東京都町田市 本社ビル



相模原市
ユニテックス第二ビル



相模原市
ユニテックス第三ビル



2022年
町田市トライアル発注認定制度 認定
USB LTOデータ保存システム



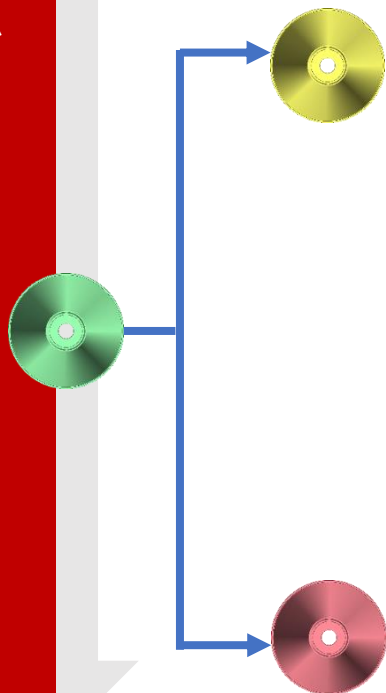
2022年
第37回 神奈川県工業技術開発大賞「大賞」
USB LTOデータ保存システム



まちだSDGsアワード2022
「ゴールデンSDGs大賞」

製品概要

マルチ光ディスクシステム ODA1400シリーズ



【2つの活用目的】

- ① **BD/DVD/CD 200枚連続自動データ書込み・レーベル印刷**
→ 数十万枚のデータ入り配布用光メディアデータを作成



- ② **AI&レーベルスキャン機能による大量の過去資産光メディアを自動でデータ移行、集約、メタデータ化して一元管理**
→ 最新メディアで一括管理、保管スペース削減



製品概要

企画から筐体設計・機構設計・電気回路設計・FPGA設計、すべて自社内で実施
当社のハードウェア技術力を結集した製品

業界初！7インチタッチ
 パネルで簡単操作

プリンター搭載

高性能ロボットアーム
 搭載 200枚連続処理

AI活用のレーベル面
 撮影用のスキャナ搭載

フロントドアキーロック

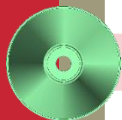
ODA1400シリーズ製品 機能アップ年表

マルチ光ディスクシステム ODA1400シリーズ



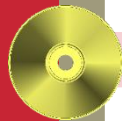
2018年7月

- 業界初となる 7 inch タッチパネルを搭載した CD/DVD/BD マルチ光ディスクシステム ODA1400 登場
- 最大 100 枚の連続大量作成・読み込み、少量作成、レーベル印刷、メディアコピー等従来同等機能を踏襲



2019年5月

- 金融系データ交換など対外顧客向け販売だけでなく、業務委託大型アウトソーシングにも利用開始
- クラスタリング機能とシステム連携機能でアウトソーシング用システムと連携し、約 2 週間で 6 万枚以上の大量処理を実施



2020年2月

- 最大 200 枚の連続処理モードを追加
- 最大処理枚数が増加することで、メディア交換等人手の作業工数削減
- ハードウェアの機構は変更せず、搭載ソフトウェアによる制御で実現



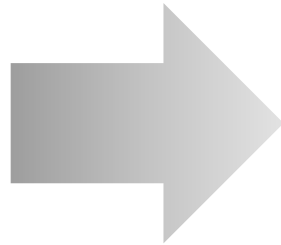
2022年10月

令和2年度
東京都新製品・
新技術開発助成
採択事業

- AIとレーベルスキャナーによる文字解析機能を搭載
- 当社ソフトウェアと連携することで、大量の CD/DVD/Blu-ray を、自動的に連続読み込みし、AI活用でレーベル面イメージや文字列情報を含むアーカイブが可能
- クラウドやLTOテープへ集約することで、一元管理やデータ利活用の容易性向上

BD/DVD/CD 200枚連続自動データ書込み・レーベル印刷

官公庁関連・大手企業



関東



近畿



四国



全国の各拠点・配布必要先
へマスターデータから大量
光メディア作成し配布したい

例えば

官公庁の公的関連データ

企業の新製品マニュアル

配布用PR・販促データ



BD/DVD/CD 200枚連続自動データ書込み・レーベル印刷

ODA1400をクラスター接続し、1日で数千枚のデータ・盤面印刷入り光メディアを自動作成可能



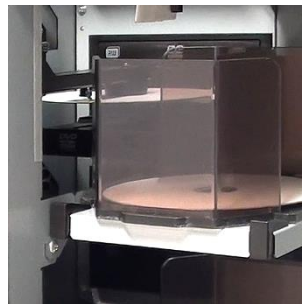
マスターデータ



制御ソフトウェアでクラスター接続



タッチパネル
操作で簡単に



ロボットアームで
200枚連続自動
データ書込み



レーベル
印刷も
自動化

BD/DVD/CD 200枚連続自動データ書込み・レーベル印刷

【構成例】



- ・専用の制御ソフトウェアにより効率的に処理実行
- ・サーバーレベルのPCを内蔵。ネットワーク接続での運用可能
- ・リモートPCからのデータ転送、データ書込み、レーベル印刷が可能

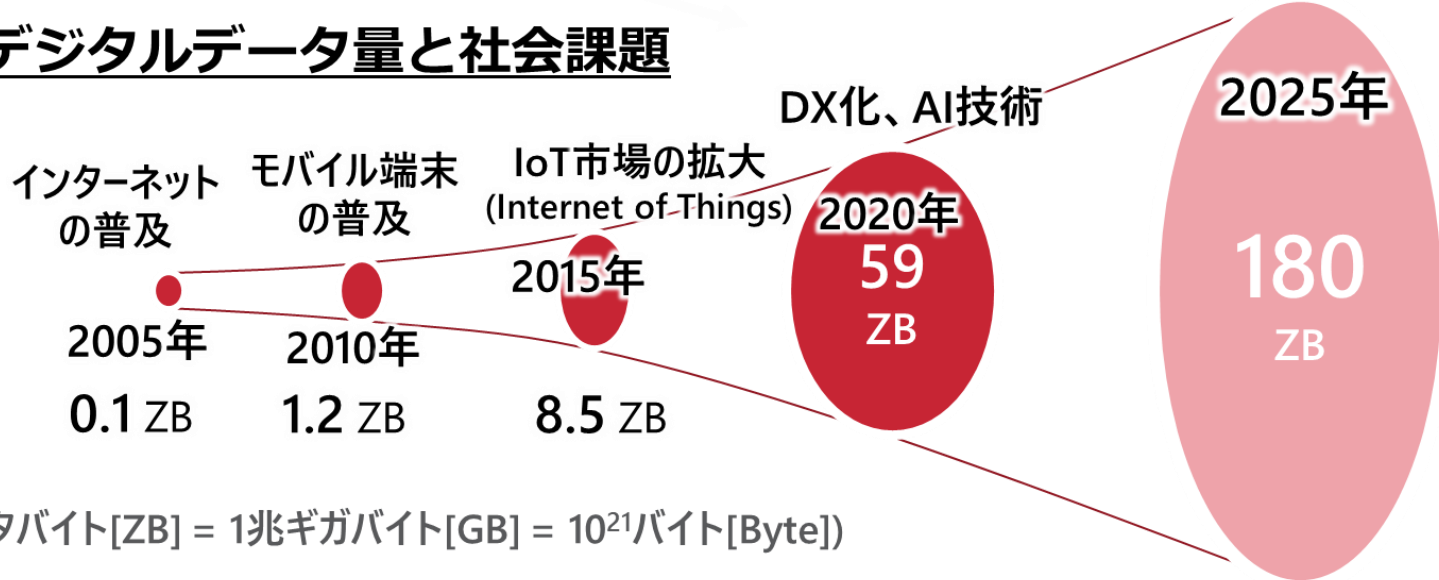


簡便に、短納期で、人手をかけずに、大量の配布用光メディアを作成

大量の過去資産光メディアの自動データ集約・メタデータ化一元管理

増大するデジタルデータ量と社会課題

世界のデジタルデータ量推移と今後の見込み



デジタルデータの急増



大量の過去光メディアデータ資産
経年劣化、保管スペース課題

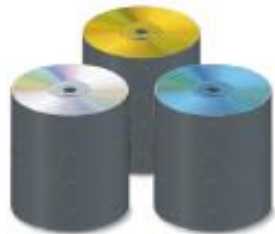
データ移行による一元管理が必要！

大量の過去資産光メディアの自動データ集約・メタデータ化一元管理

保管倉庫に眠る
大量の光メディア



光メディア
(CD/DVD/Blu-ray)



クラウド



アーカイブ先は複数
選択可能

ホットデータ

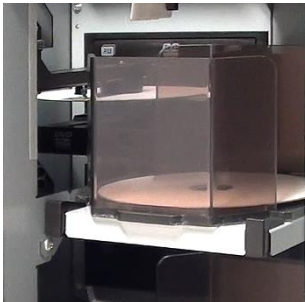
LTOテープ



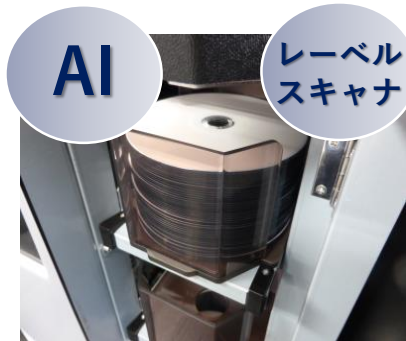
コールドデータ



データ
利活用!



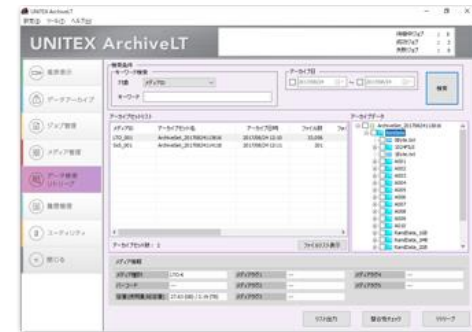
ロボットアーム
で200枚連続
自動データ
読み込み



AI

レーベル
スキャナ

AIとレーベルスキャナ
によりレーベル面の
読取り、メタデータ化



アーカイブ
ソフトで
一元管理

大量の過去資産光メディアの自動データ集約・メタデータ化一元管理



AIとレーベルスキャナによるレーベル面の読取り、メタデータ化

光メディアの回転体では、スキャナーでレーベル面読取りは不向き。
 AI技術と画像処理によるレーベル撮影画像の**回転角度自動調整機能**を実現し、**テキスト・バーコード・QRコード**含めた情報をメタデータ化することを可能にした。

- 手間なく全自動で大量の光メディア過去データ資産を一元管理
- 効率的なデータの利活用（必要なデータをメタ情報で簡易に検索）
- 保管スペース大幅削減

